



## タータン 伝統と革新のデザイン

日本では「タータンチェック」と呼ばれてきた、英国の織物「タータン」。洗練された格調の高いデザインで、スカートなどの衣類から、マフラー、各種インテリア、小物類にいたるまで、日常のあらゆるところで使われています。

その起源は、中央ヨーロッパに住んでいたケルト人にさかのぼります。彼らがスコットランドの北西部、ハイランド地方に移り住むと、防寒性・実用性にすぐれたタータンはその地で老若男女の日常着として定着しました。18世紀には、イングランドに対する反逆の象徴とみなされ、着用が禁じられた時期もありました。しかし、ロマン主義の時代にハイランド文化復興の機運が起こると、スコットランド文化、ひいては英国文化を象徴する織物として再び脚光を浴びることになります。

本展では、多彩なタータン生地約100種の他、エディンバラの風刺画家ジョン・ケイなどによる古版画に表されたタータンや、様々なデザイナーによる衣装や小物、日本とのかかわりを示す資料など総数約270点を通じて、歴史から社会的・文化的背景まで様々な視点からタータンの魅力を紹介します。

|              |   |
|--------------|---|
| 展覧会名         | タータン 伝統と革新のデザイン   |
| 会期           | 2019年9月21日(土)～11月4日(月・振)<br>月曜休館(ただし、9月23日、10月14日、11月4日は開館)   |
| 作品数          | 約270点   |
| 会場           | 久留米市美術館(本館2階)   |
| 主催           | 久留米市美術館、朝日新聞社、TVQ九州放送   |
| 後援           | ブリティッシュ・カウンスル、スコットランド国際開発庁、日本スコットランド協会、久留米市教育委員会  |
| 協賛           | スペシャルパートナー＝株式会社ブリヂストン<br>オフィシャルパートナー＝学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店  |
| 企画協力         | ROBINS  |
| 入館料          | 一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大学生500円(300円)<br>高校生以下無料 ※( )内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上<br>※前売券600円あり ※延長開館を行う日の17:00以降は入館無料         |
| 開館時間         | 10:00-17:00(入館は16:30まで)<br>※9月28日(土)、10月5日(土)は18:30まで延長開館(入館は18:00まで)   |
| 交通案内         | JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分<br>福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分   |
| 本展に関するお問い合わせ | 久留米市美術館(公益財団法人久留米文化振興会)<br>展覧会担当: 泉田佳代 広報担当: 森山秀子<br>〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内)<br>TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134 |

## 展覧会の構成

### 第1章 タータンとは

誰もが知っていて、世界中で愛されているタータン・デザイン。にもかかわらず「タータン」の歴史や定義については余り知られていないのではないのでしょうか。最初の章では「タータンとは何か」について、パネル解説や写真、資料をつかってわかりやすくご紹介します。



①アフタヌーンドレス 1865年頃

### 第2章 タータンの受難と復活

スコットランドの北西部に位置するハイランド地方で使われていた羊毛の織物、タータン。イングランドへの反乱軍が身につけたことから着用が禁じられた時期もありましたが、18世紀から19世紀にかけて近代化が進むにつれ、むしろ民族文化を残すタータンは見直され、ジェームズ四世やヴィクトリア女王も身につける、英国の織物になりました。19世紀前半の風刺画家ジョン・ケイの作品などで、タータンを身につけた当時の人々の姿を見ることができます。



②ロイヤル・ステュワート (モダン)



③ジョン・ケイ《ロイヤル・ハイランダーズ隊下士官 ウィリアム・ダフ》1816年



④子ども用ハイランド衣装一式  
1868年頃

### 第3章 タータンの種類

タータンには、用途や目的によって幾つかの名前がつけられています。はじめは軍用だったミリタリー・タータンや、由緒ある氏族(クラン)とその家族が身につけられるクラン・タータン、地域に結びつくディストリクト・タータンなどです。現在でも、企業や個人のために毎年新しいデザインが生まれています。



⑤ゴードン (ハイランド No.3)



⑥ブキャナン (モダン)



⑦ブルドックソース・タータン



#### 4章 多様化するタータン

スコットランドから世界へ。民族衣装だったタータンが、ファッションとして広まっていく過程を、同時代のデザインとしてタータンを取り入れたコスチューム、ウェディングドレスなどを通じて紹介します。世界的なファッションデザイナーが、今なおタータンの新たな魅力と可能性を発信しています。



⑧アンドレ・E・マルティ『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「田園にて-ポール・ボワレのドレス」1923年



⑨ヴィヴィアン・ウエストウッド  
《タータン・スーツ》  
1993年

#### ⑩Afternoon Tea LIVING

オリジナル・タータン柄ミニベア



#### 第5章 タータンと日本

タータンと日本のかかわりは、洋装文化の移入が始まる明治時代までさかのぼります。その歴史を戦前から現代まで、その時代の流行のファッションや雑誌、ポスターなどによって紹介します。



⑪鼠地格子模様毛織男児マント  
1926年頃



⑫『サンデー毎日 昭和10年12月1日号』1935年



⑬ミハマ製シューズ 1970年代

#### 関連事業

- ① 美術講座 本館1階 多目的ルーム／申込不要／先着70名

「タータンの魅力」

日時：10月12日（土）14:00（13:30開場）-15:30

講師：奥田実紀氏（作家・タータン研究家）

聴講料：無料

- ② 体験講座 本館1階 多目的ルーム／要申込／定員30名

「ウイスキーの世界—スコッチウイスキーと竹鶴政孝—」

日時：10月26日（土）14:00（13:30開場）-15:30



講師：佐藤一氏（アサヒビール株式会社第6代ウイスキーアンバサダー）

対象：20歳以上の方（数種類のウイスキーの試飲を行います）

参加費：1000円（展覧会チケット込み）

申込方法：①～④をご記入の上、FAXまたはハガキで、久留米市美術館イベント係まで。

①参加人数 ②全員の氏名(ふりがな)と年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号  
1通につき2名様まで応募できます。

申込締切：10月8日（火）必着

\*結果は10月12日(土)までに応募者全員にお知らせします。

注意事項：飲酒をとまなうイベントのため、公共交通機関での来館をお願いします。

- ③ ワークショップ 本館1階 多目的ルーム／申込不要／材料がなくなり次第終了  
「リボンでつくるタータン風ブローチ 紙でつくるタータンチャーム」  
日時：10月19日（土）11:00-15:00  
参加費：100円（展覧会チケット半券1枚で1回無料）
- ④ ワークショップ 本館1階 多目的ルーム／申込不要／材料がなくなり次第終了  
「スコットランド製タータン生地で作る くるみボタンブローチ」  
日時：10月20日（日）11:00-15:00  
参加費：200円（展覧会チケット半券1枚で1回無料）
- ⑤ スペシャルギャラリートーク 本館2階 展示室／申込不要（要本展覧会チケット）  
日時：9月21日（土）14:00-15:00  
場所：本館2階エントランス集合  
話し手：富田智子氏（三鷹市美術ギャラリー主任学芸員）
- ⑥ 担当学芸員によるギャラリートーク 本館2階 展示室／申込不要（要本展覧会チケット）  
日時：10月5日（土）14:00-14:30  
場所：本館2階エントランス集合

### 作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。